

『うつくしま、まちづくり推進レポート』

Vol.8

平成16年2月24日発行

1 トピック ~ 「まちづくりフォーラム」を開催しました。~

ともに考え、ともにつくろう！ ~ふくしまのまちづくり~

福島県と法人『ふくしまNPOネットワークセンター』との共催により、去る平成16年2月10日、福島テルサ・FTホールにおいて、各地区で「まちづくり」を実践しているNPO関係者、地域活動団体代表者、福島大学の先生を講師に招いて、県や市町村の職員をはじめ、NPO関係者、一般県民約300名の参加を得て「持続発展可能なまちづくり」や「個性と魅力ある美しいまちづくり」をテーマに講演とパネルディスカッションを開催しました。

まず、福島大学経済学部の山川充夫教授から生活者から見たまちづくりとは何かなど『持続発展可能なまちづくり』の枠組みについての基調講演を頂きました。

次に、『青森市における地域の個性に応じたまちづくり』と題してヒロシカンパニー代表の加藤博氏より事例発表が行われ、青森駅周辺の新町商店街を核とした中心市街地活性化の例について苦労話とユーモアを交え紹介がなされました。

引き続き、両氏をコーディネーターとアドバイザーの立場で参加していただき、白河市で商店街をテーマに映画にした「らくだ銀座」をプロデュースしたNPOカルチャーネットワークの越後啓子氏ら4名のパネラーを招き、ふくしまのまちづくりについてパネルディスカッションを活発に展開しました。

詳細内容については、**現在記録冊子を取りまとめており、3月下旬に発行できる予定です**ので、**ご覧になりたい方は福島県土木部まちづくり推進グループまでご連絡下さい。**

(連絡先は、最後の編集後記欄に記載してあります。)



雨宮土木部長による主催者挨拶



アドバイザーの加藤氏と山川氏



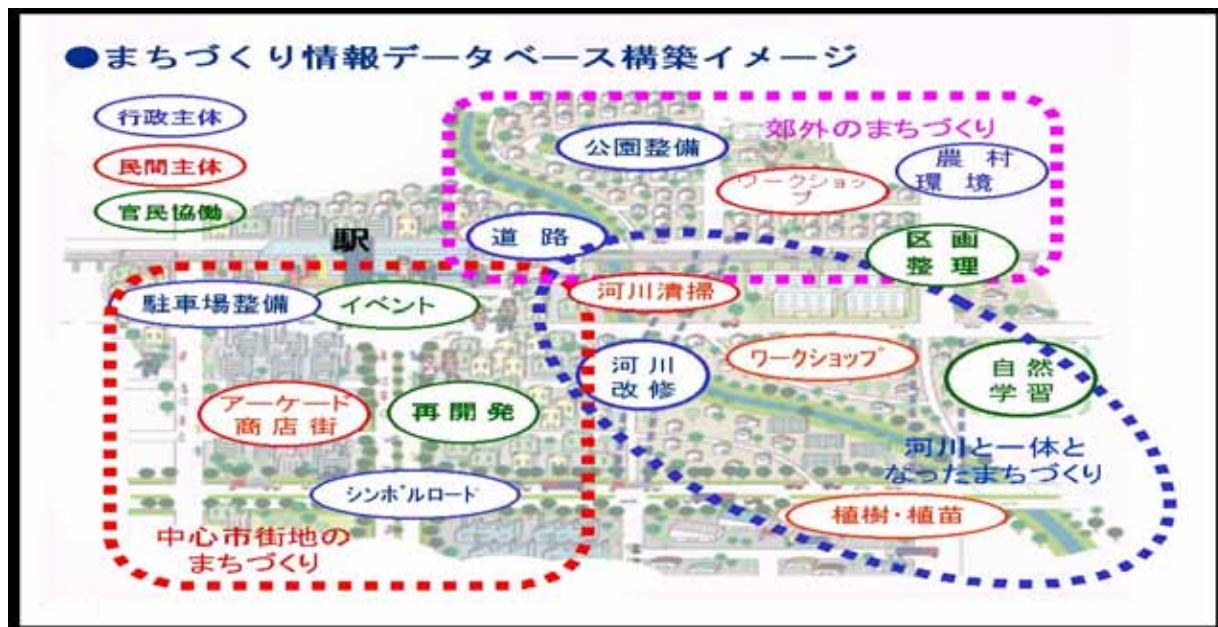
パネルディスカッション状況



4名のまちづくりパネラー

2 「県内のまちづくり関連情報」 ~まちづくりデータベースについて~

福島県（まちづくり推進グループ）では、平成15年度から県内のまちづくりに関するさまざまな取り組み、団体の活動、良好な事例を中心に情報を集め、インターネット上での公開を視野に電子情報化に取り組んでいます。現在、NPO法人ふくしま保全センターとの協働により情報収集を行っており、平成16年度に全県域を網羅する予定です。電子化する情報は団体名や活動地、活動分野などの基礎情報のほか、活動内容や取り組んだ事業などについて写真などを使って分かりやすく編集し、了解を得た団体については、県のホームページやCD-ROM等で情報公開する予定です。また、利用者が欲しい情報がより得やすいように検索機能も付加する予定です。完成をお楽しみに！！



3 「ちょっと一息」 ~みんなでワークショップに参加しよう~

ワークショップ（WORKSHOP）という言葉が最近多く耳にします。仕事場とか作業所といった意味もありますが、一般的には「研究集会」とか「提案実践」とか言った一般住民が中心となった住民参加型の勉強会や検討会を意味します。

では、具体的にどのように行われているのでしょうか？ 簡単に紹介してみます。

進め方

皆で検討するテーマを掲げる
皆で資料などを持ち寄り、グループを編成し意見交換する。
グループごとに意見を集約し、解決のための方向性を描く（模造紙に意見を記入したカードを貼り付ける）
解決のための役割分担や具体的取り組みの案を作成する。
グループ単位で発表し、他のグループの意見を貰い参考とする。

ルールを守ろう

発現しやすい雰囲気は参加者全員で創ろう。
豊かな人権感覚を持ち、相手の意見を尊重しながら自分の意見を述べよう。
相手の話をまず聴こう。
お互いに学び合うことを大切に。
できるだけ結論から先に言おう。
一日だけではなく、数回にわたって議論しよう。
必要に応じて合同で現地を調査しよう。
提案に参加できる喜びを知ろう。

市民と行政をつなぐNPOの役目
住民参加や運営を活気づける（ファシリテーター）
難解な言葉を翻訳する（インタープリター）
住民に専門性を与える（アドボケーター）

参加すると新たな出会いや発見があり、非常におもしろいです。機会があれば是非参加してみてください。



参加者が多い場合はグループ編成



NPOの司会者(ファシリテーター)



資料を持ち寄り意見の交換



意見を集約し、模造紙にまとめる



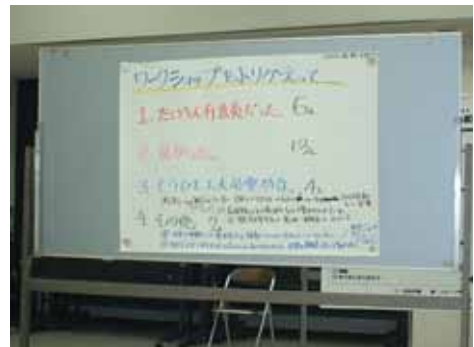
グループごとに発表



司会者による全体の取りまとめ



よくできました。



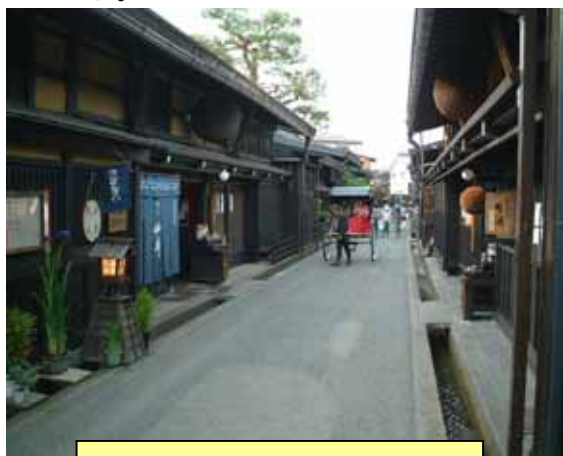
4 行ってみたいこんな街 ～岐阜県高山市（古い街並みの保存）～

今回は古い街並みを官民一体で保全し、観光資源として活用され賑わいが絶えない岐阜県高山市の街並みを紹介します。

高山市は、人口67,000人、面積13,957haで、本県の須賀川市と人口・面積とも類似した岐阜県の山間に位置する市です。平成14年度のNHK朝の連続ドラマ「さくら」のロケ地であったこともあって、歴史や伝統文化に根付いた古い街並みをイメージされる方が多いでしょう。

実際に市街地内の古い建物や路地などを背景とした景観を積極的に保存する動きが昭和40年代から住民主導で進められ、現在は都市計画法での「**伝統的建造物群保存地区**」の指定や高山市市街地景観保存条例での「**市街地景観保存地区**」の指定など、伝統的様式により構成される街並みや建築物については原則保存するよう制限されており、改築や立て替えにおいても一定のルールが決められています。地区の商店主や住民はこのルールを誇りを持って遵守しており、写真で示すように通りは年間300万人の多くの観光客で賑わっています。

また、観光客だけではなく、地元消費者も買い物をする場、いわゆる朝市が名所となっており、市内を流れる一級河川宮川のたもとで開かれる「宮川朝市」と陣屋跡で開かれる「陣屋前朝市」が有名です。地元で生産したものを地元で安価に消費するといった地域生産・消費の循環も保たれた美しいまちです。



茶色を基調とした古い街並み

路地の珈琲店
店の色調や意匠も周囲と調和するよう
配慮されている



5 編集後記

「うつくしま、まちづくり推進レポート Vol. 8」はいかがでしたでしょうか。

今後も充実した内容となるよう努力していきますので、取り上げてほしい事例やご意見、ご要望、ご質問などございましたら遠慮なく下記発行者までお寄せ下さい。

メールマガジン（無料）の配信をご希望される方は、下記**E-mailアドレス**にてお申し込み下さい。お申し込みにあたりましては、タイトルを「**メールマガジン配信希望**」とし、1. **団体・会社等所属名称**、2. **氏名**、3. **メールアドレス**、4. **電話番号**（送信エラーの際に連絡するため）、そしてよろしければ、5. **性別**、6. **年齢**をご記入下さい。お申し込みされた方には、レポートの発行情報などをメールにてご案内いたします。

【発行者】 福島県 土木部 まちづくり推進グループ

電話：024-521-7510

FAX：024-521-7956

E-mail：machizukuri@pref.fukushima.jp

URL：http://www.pref.fukushima.jp/toshi/machizukuri.html

